

有効茎はすでに確保されています。中干しをしっかりと行い、穂肥のできるイネ姿に整えましょう。

## 1 現在の生育状況

7月1日現在の生育状況（作柄診断圃）

品種	場所	移植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (枚)	葉色 (SPAD)
雪若丸	新庄市泉田	5/22	37.9<90%>	673<113%>	9.2<-0.2>	45.7<+2.9>
つや姫	舟形町富田	5/17	51.0<117%>	619<113%>	9.8<+0.6>	43.8<+1.6>

◎茎数は多く、葉色は濃い傾向です。

◎幼穂の生育状況からみると、出穂期は平年並の見込みです：

雪若丸 8月7日頃、つや姫 8月12日頃

◎中干しにより、穂肥のできるイネ姿に仕立てましょう。茎数が多く、葉色が濃い圃場ではしっかりと中干しを行いましょ。無効分げつが多くなるとイネの体力が消耗します。まだ中干しを始めていない場合は、ただちに始めましょう。

## 2 病害虫

### ●いもち病

葉色の濃い圃場が多い傾向です。葉いもちが発病しやすい気象条件も出現しています。

圃場内の葉色の濃い部分や葉が繁茂した部分を中心に、発生していないかチェックしましょう。

あやしいと思ったら普及課またはJAに相談

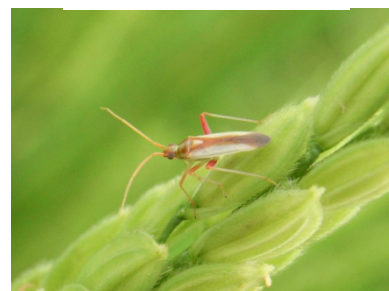
### ●斑点米カメムシ類

斑点米カメムシ類はイネの出穂前、農道・畦畔のイネ科雑草をエサにして繁殖します。薬剤防除の効果を高めるためには、今のうちに斑点米カメムシ類の生息数を抑えておく必要があります。

継続的に農道・畦畔の草刈を行いましょ。地域ぐるみで行うと、より効果的です。



葉いもち（急性）



アサジカスミカメ

### 3 穂肥のめやす

- ◎穂肥の前に、生育診断を行いましょう。
- ◎穂肥は、適量であっても、遅れると玄米タンパクが高まる原因となります。必ず出穂25日前までに行いましょう。

#### つや姫

##### 標準的な穂肥

時期	施肥窒素成分
出穂30～25日前	1.5kg/10a

##### 出穂35日前(7/8頃)の生育診断

		m <sup>2</sup> 当り	～600本	600～650本	650本～
茎数	株当り	70株植	～28本	29～31本	32本～
	60株植		～32本	33～36本	37本～
葉色	SPAD		～39	40～41	41超過
穂肥	10a当たりNkg		1.5	1.0	0

出穂25日前までに葉色が低下した場合のみ 1.0kg 追肥

#### 雪若丸

##### 標準的な穂肥

時期	施肥窒素成分
出穂30～25日前	1.5kg/10a

##### 6月30日の生育診断

		m <sup>2</sup> 当り	～560本	560～750本	750本～
茎数	株当り	70株植	～26本	27～36本	37本～
	60株植		～30本	31～42本	43本～
葉色	SPAD		40未満	40～44	44超過
穂肥	10a当たりNkg		1.5	1.5	～1.0

早めに追肥  
地力の低い圃場では上限 2.0kg

地力の低い圃場では上限 2.0kg

減肥必要

茎数確保のために以前に窒素追肥をした場合、その分を差し引いた量を穂肥量としましょう

**農作業事故に注意しましょう！熱中症を防ぎましょう！**

山形おいしさ際立つ！米づくりプロジェクト最上地域本部事務局：最上総合支庁農業技術普及課  
電話 29-1330（稲作担当）